

Akiko Kusano & Gerald Schubert Duo Abend

草野明子 & G.シューベルト デュオの夕べ

ウィーンへの回帰 Vol.3

共演

ゲラルド・シューベルト (ヴァイオリン)

Gerald Schubert, Vn

モーツァルト

ヴァイオリン・ソナタ 長調 KV301

W.A.Mozart : Sonate für Violine und Klavier G-dur KV301

シューベルト

ヴァイオリン・ソナタ(ソナチネ) 第3番 短調 D408 作品137-3

F.Schubert : Sonatine für Violine und Klavier Nr.3 g-moll D408 Op.137-3

ドボルジャーク

ヴァイオリン・ソナチネ 長調 作品100

A.Dvořák : Sonatina G-dur Op.100

バルトーク

ルーマニア民俗舞曲(ヴァイオリン版)

B.Bartók : Rumänische Volkstänze

ヨーゼフ・シュトラウス

ポルカ・マズルカ「女心」 作品166

Josef Strauss : Frauenherz Polka-Mazur, Op.166

ヨハン・シュトラウス

南国の薔薇 作品388

Johann Strauss : Rosen aus dem Süden Op.388

曲目は変更になることがあります。

このリサイタルは国立音楽大学個人研究費(特別支給)の助成を受けました。

2018年 **11月21日**(水) 19:00開演(18:30開場)

Ⅱ アートホール アフィニス 地下鉄銀座線「虎ノ門駅・3番出口」より徒歩4分

全席指定 5,000円

前売

チケットぴあ 0570-02-9999 pia.jp/t(Pコード128-963)

CNプレイガイド 0570-08-9990 www.cnplayguide.com

後援: オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム

オーストリア文化フォーラム

お問合せ・ご予約・マネジメント: Shin・En 新演 03-3561-5012 www.shin-en.jp



草野明子 (ピアノ)

Akiko Kusano, piano

●東京に生まれる。幼少より母親にピアノのほだきを受ける。故林美奈子氏、深沢亮子氏に師事。●東京都立芸術高校音楽科ピアノ科を経てオーストリア・ウィーン国立音楽大学に留学、故エドゥアルド・ムラツェック教授、アレクサンダー・イエンナー教授に師事。

●在学中より演奏活動を行い

1977年ベートーヴェン没後150年記念TV番組(オーストリア国営放送制作)に出演し、ベートーヴェンの作品を演奏。●1978年4月ウィーンにてリサイタル開催。11月にはシューベルト没後150年記念に際してシューベルト生家における演奏会。またウィーン室内合奏団のメンバーと共演。12月埴日協会例会に出演。●1979年10月埴日協会例会に出演。●1980年2月同校を最優秀賞を得て卒業。同年3月帰国。4月に東京にてデビューリサイタル開催。同年イタリアに渡り、セルジオ・ベルティカローリ教授に師事。イタリア各地で演奏会・テレビ放送等行う。●1981年イタリアにてオルネラ・サントリックウイド賞を受賞。●1983年にはアテネ国際コンクールに入賞。同年8月イタリア・アブルツォ州で行われたコンチェルト・オーディションにて優勝。●1984年アブルツォ州音楽フェスティバルにてリストのピアノ協奏曲第1番を協演、TV録音を行い新聞評でも好評を得る。またイタリア学生コンクールの審査員を務める。●1985年4月一時帰国してリサイタル開催。同年12月帰国。●これまで23回の自主リサイタルを定期的に開催。東京でのリサイタル

ではイタリア近代・現代の作品紹介に努めてきた。2000年9月のデビュー20周年記念リサイタルではイタリア音楽の夕べ、2002年ドビュッシーの夕べ、2004年リストの夕べ、2006年シューマンの夕べを開催。2008～2010年のシューマン生誕200年に向けて「シューマンの情景」シリーズを開始。2008年のVol.1では「ロマンティックで情緒豊かな感情表現の魅力をふんだんに加味した演奏は、成熟とそれによる芸風の変化をはっきり写し出していた。」等高い評価を得、また2009年のVol.2ではシューマンの後期作品を集めたリサイタルで注目を集め、2010年9月のVol.3(デビュー30周年記念)では、「シューマンの詩情と幸福感とがよく表現された。」と、好評を得る。2011年には「つづく路Vol.1(ブラームス)」を開催、「そこには黄昏の美しさを語る成熟した語り口が満ち、深淵な響きで、耳を惹かれた。」と好評を得る。2012年「つづく路vol.2(ドビュッシー)生誕150周年記念」、2014年「ウィーンへの回帰～詩を奏でる～」では、「美しい音色とハーモニーがウィーン情緒を感じさせた。」と好評を得る。また、国内ではオーケストラとの協演や地方でのリサイタル、埴日協会、日仏会館主催のリサイタル、アンサンブル活動及びNHK-FMに出演。また、キングレコード・ピアノ名曲全集(95年3月出版)にて、ショパンの作品30曲にワンポイントレッスン執筆。●1991年以降イタリア(ローマ、パレルモ、アレツォ、モデナ、カステッロ・ローマノ他諸都市)でリサイタル、テレビ出演を行っている。●1993年8月イタリアでファウスト・トッツィ賞を受賞。●公開講座、公開レッスン、コンクールの審査員等でも活躍中。●2000年5月CD「ドビュッシー・ピアノ作品集I」をリリース、2002年8月「ドビュッシー・ピアノ作品集II」をリリース。●2016年3月イタリア・国立レスピーギ音楽院より招かれ演奏会を行った。●現在、国立音楽大学教授。



ゲラルド・シューベルト (ヴァイオリン)

Gerald Schubert, violin

ウィーン生まれ。ウィーンの音楽高校からウィーン国立音楽大学へと進み、ウィーン・フィルの第1ヴァイオリン奏者でもあったアルフレッド・スタールに師事。オーケストラ奏者として本格的に活動を始めたのは、何と高校時代から。巨匠パーンスタインに腕を認められ、彼が率いる若手プレイヤーのオケに加わり、ヨーロッパ中をツアーして回る。また、大学時代には、天才ヴァイオリニスト、ギドン・クレー

メルが主催する音楽祭のオケで、コンサートマスターに抜擢された。1979年、ウィーン国立歌劇場管弦楽団のメンバーとしてスタート、1982年、ウィーン・フィルのメンバーとなり、第2ヴァイオリンのパートリーダーを務める。その優れたテクニックと感性から、1983年より、恩師のアシスタントとして学生たちを教えていた彼は、経験豊かな指導者でもある。1999年からはウィーン国立音楽大学の教授としてクラスを受け持ち、ウィーン・フィルやウィーン交響楽団、ウィーン歌劇場管弦楽団の若手メンバーを多く育てている。大作作曲家シューベルトの親戚(血縁)関係でもある。

メルが率いる若手プレイヤーのオケに加わり、ヨーロッパ中をツアーして回る。また、大学時代には、天才ヴァイオリニスト、ギドン・クレー

草野明子のCD



ドビュッシー ピアノ作品集I

前奏曲集 第2巻
版画 2つのアラバスク
草野明子(ピアノ)

MM-1088 税込¥3,060



ドビュッシー ピアノ作品集II

前奏曲集 第1巻
ベルガマスク組曲
草野明子(ピアノ)

MM-1127 税込¥3,060

JT アートホール アフィニス

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル2F

地下鉄銀座線「虎ノ門駅・3番出口」より徒歩4分

地下鉄銀座・南北線「溜池山王駅・9番出口」より徒歩5分

地下鉄日比谷・千代田・丸の内線「霞ヶ関駅・A13番出口」より徒歩7分



お問合せ: MEISTER MUSIC 045-680-1030